

競 技 上 の 注 意

第 77 回国民体育大会卓球競技北海道予選会

審判長 森 美香子

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

1. ルールの概要

- ・ 11 本 5 ゲームマッチで行う。
- ・ ゲーム開始後 10 分経過した場合は促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が 18 (9-9、10-8) 以上に達した場合は適用されない。
- ・ ゲーム間の休憩時間は 1 分以内。
- ・ タオルの使用は、6 ポイント毎と最終ゲームのエンド交換時のみ。
- ・ サービスは、開始から打球までボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判員が正規のサービスであることを確信できるよう行うことは、競技者の責任である。
- ・ 一振りの動作で明らかに 2 度打球した場合を除き、ほぼ同時に 2 本の指や指とラケットに当たった場合はダブルヒットとは判定しない。
- ・ ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスあるいはレシーブの体勢をとり、競技時間の遅延を避けること。

2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ・ ラバーは、ラケット本体よりも大きかったり小さかったりしないこと。公認マーク・メーカー商標・ロゴ等はグリップに最も近い場所にはっきり見えるように貼らなければならない。
- ・ ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので直ちにプレーを再開すること。
- ・ ラケットは J T T A、ラバーは J T T A または I T T F の公認マークがないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けること。
- ・ 試合中のインターバルでは、ラケットはテーブルの上に置くこと。
- ・ 公認の接着剤、シート以外の使用は認められない。試合終了後のラケット検査において不正が判明した場合はその試合は負けとなり、試合前の検査で判明した場合は別のラケットで試合すること。
- ・ ラバーの張替えは決められた場所で行うこと。

3. 競技の服装

- ・ ゼッケンは 2022 年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
- ・ 競技服装は、J T T A 公認マークのあるものを着用すること。
- ・ ヘアバンド・リストバンド・スパッツは着用できるが、日本卓球協会公認用具指定業者以外のマークが見えることは認められない。スパッツの色はショーツ、スカートと同色が望ましい。
- ・ 肘、膝より長いアンダーウェアは着用できない。但し、容認するに足る事由がある者は予め審判長に許可を求めること。

4. アドバイスは、成年の部については、ラリー中を除いていつでも受けることが出来る。

少年の部については、ゲーム間の休憩時間、タイムアウト要求時、緊急時のみ認められる。

5. 全種目とも敗者（または相互）審判とする。各トーナメント準決勝より審判員を配置する。

（公認審判員）